

めまい

「めまい」は診断も治療も難しい症状だが、近年研究が進み、不明だった原因も解明されてきた。不登校の一因がめまいにあるなど様々な情報を日本めまい平衡医学会認定めまい専門会員である松吉先生に聞いた。

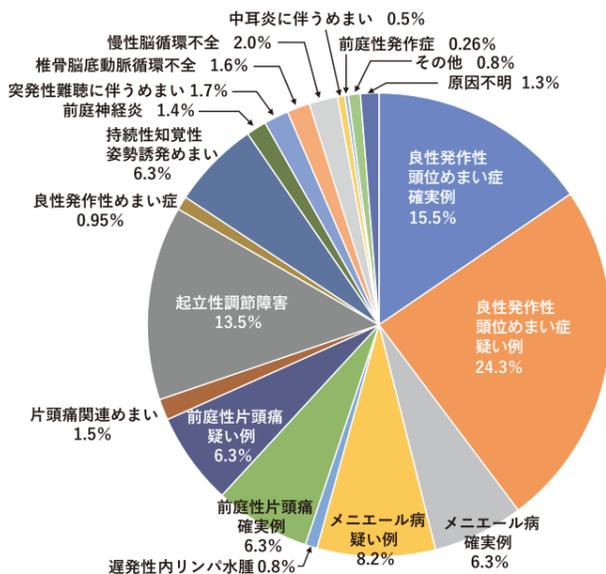
新型の機器を備えためまい専門クリニック

松橋耳鼻咽喉科・内科クリニックは、熊本大学病院耳鼻咽喉科助教を経て松

橋町の通称「きらら通り」に開業した松吉秀武理事長は、日本めまい平衡医学会認定めまい専門会員であり、同学会認定のめまい相談医でもある。同院ではめまい検査にVR（バーチャ



図1 同院でのめまい臨床統計



ルリアリティー)を用いてめまいの原因を検査できる REVEALER PtiEye (Parafred社製)、全身用16列マルチスライスCTスキャン、ABR(聴性脳幹反応)・小児難聴の検査、高気圧酸素療法装置など大学病院レベルの医療機器が多数揃っている。

一般的に、めまい症状で内科などを受診すると、頭部CT検査などが行われる傾向にある。しかし松吉院長は「めまい疾患の初診時で重要なのは、眼球の動きです。費用もかさみ、頭部被ばくを受ける頭部CT検査は、ほとんど必要ありません。まずは耳鼻科を受診してほしいですね」と語る。

同院では赤外線CCDカメラを装着して、目の動きをモニターで即時チェック。グラフとして表示されるので、患者の負担を最小限にして、的確な診断を行える。

この先生に
お聞きしました



松橋耳鼻咽喉科・内科クリニック
院長 松吉 秀武先生

耳鼻咽喉科専門医、日本めまい平衡医学会認定めまい相談医、めまい専門会員、医学博士

めまいの原因は約6割が内耳

同院が1年間(2023年3月~2024年2月)に手掛けためまい患者は、1565例にもものぼる。その内訳を、「めまい平衡医学に関する国際学会」での診断基準に基づいて調査した同院のめまい臨床統計を見よう(図1)。

多いのが「良性発作性頭位めまい症」であり、確実例・疑い例を合わせて、めまいの4割を占めている。

めまいの症状でよく知られるのが「メニエール病」だ。それに遅発性内リンパ水腫(高度難聴にかかった後に長期間経過し、メニエール病と同様に内耳が水ぶくれのようになる疾患)も合わせた「メニエール病類縁疾患」が15.3%だった。これらはすべて内耳を原因とする「末梢性めまい」であり、全めまい症例のうち58.9%を占めていた。原因が耳ではなく脳にある「中枢性めまい」は、同院では37%であった。



原因・治療法が発見された!

起立性調節障害が不登校の一因?!

「めまい平衡医学に関する国際学会」でも約10%を占める「血行動態性めまい」が、いわゆる「起立性調節障害」だ。近年、

お子さんが朝から起きにくい原因となる病気として、よく知られるようになった。立ちくらみ・頭痛・不眠・全身の倦怠感・食欲不振・集中力の低下など症状は様々。原因は交感神経と副交感神経のバランスが悪いことや、遺伝やストレスなどがある。遅刻や不登校の原因の一つとも考えられているが、決して怠けているわけではない。脳への血流が悪く起こる症状だ。

同院では高性能な指で測定する持続血圧測定機を2025年2月に導入。ベッドに横になったまま血圧を測り、その後ベッドが動いて自動的に立ち上がるが、その瞬間に血圧がボンと上がる・下がる・ジワジワ上がるなど、様々なパターンを正確に測定でき、診断に役立つ。患者さんは、体調が悪い時に寝たり立ったりと動く必要がない。



本症の分類として、主に「起立直後性低血圧」、「体位性頻脈症候群」、「遷延性起立性低血圧」があるが、機械によって正確に診断し、適切な治療をすることができる。お子さんの場合は、特に睡眠障害に対する追加治療が必要な時もある。

水分補給や運動などの治療法に加え、薬や予防アイテムもあるので、不登校の場合、耳鼻科も選択肢の一つに加える。

広く認知されていない「前庭性発作症」

お子さん特有のめまい疾患で、片頭痛が背景にあると考えられている「良性発作性めまい症」は約1%。「持続性知覚性姿勢誘発めまい」が6.3%。「前庭性発作症」が0.26%だ。

「前庭性発作症」は2016年に診断基準が策定され、今まで知られていな

かった病気だ。脳幹部から出ている聴神経が血管に圧迫されて発症する。めまい発作が突然起こり、1分以内という短時間で強い回転性または非回転性のめまい発作を繰り返す。一般的なめまい薬では効果が薄いが、原因がわかっていたため治療薬もある。病名がまだ知られていないため、見過ごされることも多い。

同院では、他に「高血圧によるめまい」3例、「脊柱管狭窄症によるめまい」2例、「薬剤性めまい」、「不整脈によるめまい」、「貧血によるめまい」、「脱水によるめまい」が1例ずつ。つまり原因が耳でも脳でもない「その他のめまい疾患」が、合計36.1%。最後に、原因不明が13%であった。

寝た場合と起きた場合の血圧の変化が、リアルタイムでわかる血圧測定器



ベッドが動くので、具合の悪い患者さんでも安全に血圧が測れる

